

**学校経営推進費 事業計画書**

**1. 事業計画の概要**

学校名	大阪府立豊中支援学校
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	支援学校における児童・生徒、保護者の学校満足度の向上 近隣施設・地域住民の方々からのアンケート調査における満足度の向上
計画名	豊中 安全安心 HOT ホット PROJECT (PTAとの協働で創り出す、防災時にも役立つ教育環境整備)

**2. 事業計画の具体的内容**

学校経営計画の 中期的目標	1 児童生徒一人ひとりの障がい特性や教育的ニーズに応じた支援を充実させるための、教員の専門性及び授業力の向上 (4) 学校生活全般において、合理的配慮の視点に基づきICTやユニバーサルデザインを活用し、児童生徒に有効な支援の工夫に努める。	
	3 児童生徒一人ひとりの人権を尊重し、児童生徒・保護者から信頼される安全で安心な学校づくりの推進 (2) 防災・防犯計画及び大規模災害時における対応マニュアルの点検・見直しや必要物品の充実等、地域やPTAと協働して防災体制の確立を図る。	
事業目標	災害発生時に備えて、防災、減災グッズを授業に活用し日常化することで、自らの命を守り抜く「自助」のための「主体的に行動する態度」を育成し、保護者との「共助」で非常時も安全で安心な学びの場を創造する。 ①ミライスピーカー（音のバリアフリースピーカー）の使用で、今までのスピーカーではできなかった児童生徒の聞こえの難しさを軽減し、主体的に授業や行事、非常時の心の安定を図れるよう環境整備を進める。 ②日常の授業や、PTA活動で発電機、ポータブル電源、各種テント、超短焦点プロジェクターなどを活用し、非常時に必要となる物品を普段使いできる学習環境の整備を構築する。 ③マッスルスーツを高等部の授業に取り入れ、生徒と教員が共助して活動できる経験を重ねる。 ④簡易テントでパーソナルスペースを設定し、日常的に心の安定を保てる体験を重ねる。 ⑤サマーイベント、PTAバザー、引渡し訓練において、地域、事業所も巻き込んだ防災啓発・防災グッズ体験をはじめシミュレーション訓練を実施する。 ⑥PTAと協働し、校内に「安心ゾーン」を設定し、減災につながる環境整備を始動する。 ⑦府下知的障がい児支援学校における防災実践の実践例として、研究紀要や学校ブログを通じて情報発信する。	
取組 の 概 要	整備する 設備・物品 (概要)	・ミライスピーカーMby（ポータブルワイヤレスアンプ：障がい者差別解消法対応）セット・超短焦点プロジェクター ・ワンタッチテント・ポータブル電源・発電機・マッスルスーツ・エアベッド・蛍光灯カバー・ガソリン携行缶 ・鍵付きロッカー・ヨガマット・インカムヘッドセット・ワイヤレス送信機・bluetoothレーザーpointer など
	前年度	・PTA保健・防災委員会防災ボランティアグループ（TAS：豊中ANSHINサポーターズ）の立ち上げ、学習会開始 ・ミライスピーカー（デモ機）の貸出しを受け、複数の授業・職員会議等で音の響き方を確認 ・児童生徒の反応から、防災の視点と組み合わせた授業をはじめ、災害時の校内設備整備に係る本プロジェクトが発案
	初年度	◎各授業、行事への防災グッズの導入 整備物品の全校周知、全校行事（文化の集い）での展示、PTメンバー及び各授業担当者による授業での導入 PTA保健防災委員会との物品の整備場所決定（12月） ◎ミライスピーカーの導入 児童生徒会役員選挙・全校集会（10月）学習発表会（11月）、各学部集会（12月、1月）、卒業式（3月） 初任研修会場校（10月）、近知研修会場校（1月）、実践交流会（1月）、保護者向け説明会及び学校説明会（3月） →研究紀要での初年度実践報告
	2年め	◎各授業、行事への防災グッズの活用 全学部：ワンタッチテントを活用したアウトドア疑似体験、スピーカーを活用した野外授業、アシストスーツ実体験 行事等：発電機、ポータブル電源を活用したサマーイベント（7月）やPTAバザー（10月）での展示、デモ試行 →研究授業や実践交流会での研究協議と実践発表、研究紀要での実践報告 ◎ミライスピーカーの活用 初年度の導入機会に加え、各学期始業式、終業式や式典行事での活用（4月～） 地震・火災訓練、児童生徒会活動、運動会等の行事やその他渉外行事での活用
	3年め	◎防災グッズ、ミライスピーカーの汎用 年間を通じて備品を活用しながら、各授業や行事、式典等保護者や関係機関における周知度を高めていく。 サマーイベントやPTAバザーでの展示、デモ試行から発展し、体験コーナーを設置 ◎渉外、広報活動への発展 それぞれの取組の様子を「学校だより」「PTAだより」等で紹介し、学校ホームページでも随時情報発信する。 →研究紀要での実践報告まとめ
取組の 主担・実施者	主 担：安全安心HOTホットとPT(首席2名・指導教諭・教諭5名)、PTA保健・防災委員会 実践者：授業プランナー、各行事チーフを中心とした全校教職員	
成 果 と 評 価 指 標 方 法	初年度	①学校教育自己診断による防災評価満足度の向上。 *学校教育自己診断にこの防災取組に関する項目を新設する。 ②本校独自の学校生活アンケートを作成し、アンケート対象生徒に実施する。 評価指標 保護者・教職員の肯定的評価が60%を超える。授業アンケート対象生徒の防災意識を把握する。
	2年め	①学校教育自己診断による教職員の防災意識の向上。 ②学校生活アンケート対象生徒の防災意識の維持または向上及び、防災に係る授業実践の取組回数の向上。 評価指標 保護者・教職員の肯定的評価が70%を超える。授業アンケート生徒の肯定的評価が70%を超える。
	3年め	①学校教育自己診断による教職員の防災意識の向上。 ②学校生活アンケート対象生徒の防災意識の維持または向上及び、防災に係る授業実践の取組回数の向上。 評価指標 保護者・教職員の肯定的評価が80%を超える。高等部生徒の肯定的評価が80%を超える。

3. 事業費

事業費総額	2,647,309	円
-------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。		見積に基づく清算			実勢価格に基づく積算		レ	
科目（節）	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1							
	2							
	3							
							小計	
2 旅費	1							
	2							
	3							
							小計	
3 消耗需用費	1	LACITIAポータブル電源 エナーボックス				57,240	2	¥114,480
	2	SONYワイヤレススピーカー SRS-XB21				10,800	12	¥129,600
	3	山善 エアベッド PAH-001FP				4,980	6	¥29,880
	4	CAPTAIN STAGワンポールテント				21,600	4	¥86,400
	5	CAPTAIN STAGポップアップシェルター				3,240	4	¥12,960
	6	ルミキャップ 蛍光灯カバー（50本+単品）				41,212	1	¥41,212
	7	ニトムズ 窓ガラス飛散防止シート（30本）				40,824	1	¥40,824
	8	DAYTONAガソリン携行缶				5,724	1	¥5,724
	9	ポータブルワイヤレス送信機				—	1	
	10	SENA SPH10 インカムヘッドセット				—	4	
	11	XIAOKOA ワイヤレスマイクヘッドセット				—	4	
	12	サンワサプライ bluetoothレシーバー				—	4	
	13	Sandony bluetoothワイヤレスマイク				—	6	
	14	管理ロッカー				36,729	1	¥36,729
	15	ヨガマット				5,060	5	¥25,300
							小計	¥751,909
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
							小計	
5 役務費	1							
	2							
	3							
							小計	
6 委託料	1							
	2							
	3							
							小計	
7 使用料 及び賃借料	1							
	2							
	3							
							小計	
8 備品購入費	1	SoundFun ミラリスピーカー-MBY セット				249,750	4	¥999,000
	2	マッスルスーツEdge				506,520	1	¥506,520
	3	Honda発電機EU26i				180,360	1	¥180,360
	4	SONY Xperia Touch G1109				104,760	2	¥209,520
							小計	¥1,895,400
9 工事請負費	1							
	2							
	3							
							小計	
10 負担金・補助 及び交付金	1							
	2							
	3							
							小計	
							合計	¥2,647,309

積算内訳